

中学校英語の分析結果

〈中学校英語科〉

○良好と考えられること

- ・社会的な話題について、短い説明の要点を捉えること
(水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する問題)
- ・「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むこと
(事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する問題)
- ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る
こと
(友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する問題)

☆課題と考えられることと今後に向けた改善のポイント

- ◇文と文の関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉えることができるようにすること
(図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句やその概要として最も適切なものを選択する問題)
- ・短い説明やエッセイ、物語などの文章全体を読んだ上で、時系列に情報を整理したり、主要な文を抜き出したりする活動を行う。その中で、語と語の関連や代名詞、接続表現などを手掛かりにして、段落内の情報の関係を正確に把握できるようにする。
- ・英文全体のキーワードを手がかりとして、キーワードに関する文を拾い出し、英文全体の概要を捉える活動を行う。そうすることで各段落の主な内容を関連付け、文章全体の大きな内容を捉えることができるようにする。
- ・英文の概要を書き出し、その英文について、各段落の主な内容が過不足なく含まれているか、情報に偏りがいないか、一部の情報だけが詳細に述べられているなどバランスを欠いていないかといった視点で確認させるようにする。
- ・読んでいる英文の題材に応じて様々な概要の捉え方(説明文の場合には、各段落の主な内容を集めたもの、物語の場合には、時間の流れに沿ったあらすじ)を指導する。
- ◇言語の働きを理解し、場面や状況に応じて表現を使い分けることができるようにすること
(メールの英文を依頼する表現に書き換える問題)
- ・教科書で取り上げられている会話や教師のモデル会話など、実際のコミュニケーションの場面や複数の表現を取り上げて指導したり、対話をロールプレイさせたりすることで、それらの表現がもつ言語の働きを考えさせる。
- ・モデルとは異なる場面や状況を設定して、同じ言語の働きをもつ表現を使い分ける活動を繰り返し行い、効果的に使えるようにする。